

植物多様性センターの「ウツギとハチの甘い関係」

アジサイ科（旧ユキノシタ科）の落葉低木ウツギは、5月を代表する植物のひとつです。純白の花色と甘い香りは、幼い日の卯の花の垣根の記憶を思い起こさせます。私たちの心にも強く残る白い花と香りは、じつは虫たちにとっても魅惑の対象です。甘い蜜と豊富な花粉を求めて多くの昆虫が訪れます。しかも昆虫たちが蜜を吸いやすいよう、花系を変化させて止まり木まで用意しているのです。



ウツギノヒメハナバチ:ウツギ専属、花系の横には止まり木が



セイヨウミツバチ:近くの養蜂園から飛んできています



コマルハナバチ:全身が黄色の毛のもふもふの花蜂



クマバチ:大きな羽音を立てるので、小型のハチは逃げ惑う